滿洲日報

集市元豆六吊百至六吊二百
紅糧價錢五吊四百文至五吊
糧車共上車三十餘輛
邊錢共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一連紙 一連
一フールスカツプ 全 一圓
一中判洋紙 全 四圓
一半紙野紙 百枚 二圓
一卷紙 四十枚續 二十錢 十二錢

一椅子
一簞笥
一卓子
一卓子掛
一廚房用戶棚

一圓五十錢以上四圓五十錢
三十圓以上五十圓
四圓五十錢以上十五圓
六圓以上十二圓
七圓五十錢以上十圓

一長火鉢
一箱火鉢
一宜德火鉢 一對

四圓以上十六圓五十錢
二圓以上三圓五十錢
六圓以上九圓

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人幷無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減 每張四百文

料 一ケ月以內 … 長期連揭減價面議

Rates for Advertisement 20 cts. per line. Payable in Advance. Postage Included. *The Manchuria Daily Report Office. Newchwang.* Telephone No. 29.

發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社（電話二十九番）

告示

大日本帝國營口監督與 爲
出示曉諭事照得貨財爲商業發達爲之資幣制實貿易繁興之具故必法歸畫一乃可通行更須製造無訛始堪信用熟考當埠幣制雜亂紛繁貴賤低昂莫知所向故有愛英洋錢有好人龍錢有擇大邊錢者他若抹銀錦寶小洋錢等製造不同嗜好各異不可名爲流通貨幣又不適爲公認法貨至於軍用手票大軍所用庶民咸悅今南滿洲到處通行當埠亦交易稱便然自平和克復後逐漸收回代以橫濱正金銀行牛莊支店鈔票關東總督告示確有明文橫濱正金銀行所發鈔票其持至該銀行兌換需用者立將品質九成色之銀圓兌換故自今未盡收回之手票與鈔票銀圓皆爲當市之流通貨幣用此等銀錢充兌買賣存欠各賬目實爲公認法貨其他貨幣除合意交易外不爲公認自示之後仰闔埠人等一體遵照勿違
特示
右諭通知
明治三十九年二月

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千零拾四萬圓
本支店出張所
橫濱 神戶 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺
電話 十番 支配人室 百八番 事務室
橫濱正金銀行牛莊支店

賣捌並廣告取次所

大連市稜岐町三百三十八號 日華運輸公司
大連市盤城町四十九番地 岡野新聞舖
奉天大南門內景祐宮胡同 全泰號
遼陽遼陽俱樂部 谷口今朝太郎

三井洋行

●精製白砂糖新入荷物あり
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷着

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は全所へ御照會被下度願上候（電話百二十八番）

宅合名會社分莊

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印丼一切雜貨其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋緞子洋胰鹼表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸

運輸部
這般特得官准開設火車轉運行於東西兩店幷牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事興本業賜顧幸甚
總司理人田中賴之助謹白 電話 東店五五 西店二三

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並匯兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人 葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正理事 濱玉田 副理事 金德魁 設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

仁裕號

保裝運各幫火輪船生意兼賣各制洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

元茂盛

油坊買賣元荳油荳餅雜色糧石以及代客購辦雜貨布疋一槪發行裝運沙船輪船交易南北客商歷有年矣爲此謹白
開設營口西街老爺閣前路北警乙第四十九號

代代木烟公司

本行專售 日本官造紙烟 星象牌（斯達）櫻花牌（撒科）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉諸君欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克己凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需 圖本主人啓

明治火險公司

三井洋行經理
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一核章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議（電話六十八番）

生徒募集

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し嚴に督促書を差出したるも尙遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
營口 瀛華實學院

營口瀛華實學院招入學生

本學院肄業諸生頗著成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白
營口瀛華實學院

清酒東自慢、白鹿 朝日ビール 孔雀印平野水、上等石炭

以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也
松茂洋行商業部 河岸通（電話五十二番）

島田洋服店

東營口郵便局東隣

同支店

新民屯停車場前

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.

Plans and specifications made to order.

ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

森病院

診察 自午前八時至正午十二時 自午後三時至午後五時
往診 午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄（取扱主任産婆大道しげ子）
院主 森彌
醫長 鈴木昌平
營口永世街（電話一五五番）

和泉洋行

本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、鏡子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一槪俱全價值格外從廉克己、凡中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、
大阪府堺市熊野町 藤原謹啓

田中牛莊分莊

啓者本舖開設於營口緩定門外經大阪九三組精造東緊身洋式襪子羊毛手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉 賜顧者請光臨本舖面閱是幸
田中牛莊分莊謹啓

營口商業學校招入學生

宗旨 造成辦公實業家
學科 修身、漢文、詞章、習字、算術、圖畫、地理、歷史、理化、商律、簿記、理財、商品、商業學、日語、英語、体操
學額 五十名
資格 十五歲以上文理明通者
學費 特免惟寄宿生自備饌費餘皆本校墊辦
入學 陰曆三月初一日
夜班 專爲有志向學而白晝忙於謀生者計每晚兩點鐘之功課授以漢文算術商業學日語以一年爲限
○欲覽各樣詳細章程可到本校索閱
本學校由客春開學以來肄業諸生頗著成効茲因添建樓宇增設講堂應需器具種々皆備現擬招入第二次學生

上海 中井洋行

專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專館之約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

東洋號

●雜貨卸小賣商 附日用食料品
●菓子製造販賣商
●委托販賣商
●土木建築受負業
●瀛車積運送業
新民府孫家街 東洋號

三井物產合名會社 牛莊支店

今回弊店に於て明治火災保險株式會社代理店引受候に付き建築物、商品、家具、什器、一切の火災保險精々御便利に取計可申御用被仰付度願上候
三井物產合名會社 牛莊支店（電話六十八番）

東清鐵道 裕和盛運輸局

啓者本號向在日本長崎開設數十年幷分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專辦中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東淸鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人周鶴雲謹啓（電話百八十一號）
寓東營口西北街旗昌洋行對門

電氣諸機械

大販賣
本店 天津日本租界電話二〇〇
支店 營口永世街甲二一五號
三友洋行電機部（電一五四番）
主任 朱牟田寅吉

自製造 煉瓦●瓦 並に各種石材販賣

營口青堆子 加州組（電話八十六番）

滿洲日報

本日の陸軍紀念日

日露戰爭は有史以來の大戰爭なり、而して奉天戰役實に陸戰の終局戰として、偉大の效果を收得し、我をして能く全勝の勢を制して平和の局を結ばしめたるもの、同戰役の力に負ふや最も大なりと爲す。憶ふ曩に陸軍省が遍く陸軍一般に布達して、特に戰況の最も良好なる三月十日を選びて其紀念日と爲し、以て永遠に此光輝ある吉日を忘れさらしめんとせる、偶然ならずと謂ふべし。

顧ふに去歳新春劈頭旅順の始めて開城し、彼我百萬の大軍沙河を隔てゝ相對陣するや、我は連戰連勝の勢に居ると雖も、奉天にして未た拔く能はさる、則ち南滿洲の事竟に爲すあるに足らさるのみならず、軍事上の目的以外別に奉天の略取を急要とし、乃ち數月の包圍に百戰殆と疲憊せる乃木軍を分ちて左右兩翼を張り三面夾擊大に敵軍を破り、其潰敗北ぐるを追ふて鐵嶺を陷れ、更に長驅して開原を拔き昌圖を取り、柵南復た敵の一兵を留めす南滿洲全く我手中に入り我邦の利權始めて確立するを得たり、則ち知るべし奉天戰役は翅に日露戰爭終局の大戰として其價値の極めて大なるのみならず、又併せて政治的見地よりして特に其効果の尋常に非さることを、若し不幸同戰役にして彼我其地位を易ふる、則ち南滿洲の能く今日あるを見る可らさるは勿論、形勢の變化、或は日本海の大勝も遂に得て期す可らさりしやも亦保すへからす、世人にして果して南滿洲に於ける奉天戰役以前の我邦の地位を懷ひ、勝敗にして彼我其地位を易ふるを想ふ、則ち奉天戰役を紀念し日露戰爭を紀念する本日の吉辰に膺り、須らく滿腔の熱誠を捧げて大に之を祝する所無くして可ならんや。

然れとも本日の紀念日の祝すへきは則ち然りと雖も、此稀有の大捷を得て赫々の光譽を荷ふに至れる半面には、幾多の戰友幾多の同胞の犧牲と爲れる者あるとを記臆せさる可らす、生ける者、死せる者、其公事に奉せる勤勞は固と甲乙ある可らさるに、一は戰勝の光譽を全うして均しく其榮を享け、一は身を溝壑に委して忠魂呼べとも返らす、幽明處を異にして榮辱の差則ち斯の如し、一念顧みて此に及ぶ、誰れか竦然として自ら懼れさらんや。左れば此紀念すべき吉辰に於て、大に同戰役の偉績を懷想し、以て邦家今日の昌運を謳歌すると共に、幾多の陣歿同胞が不朽の英靈を慰藉し、軍隊の士氣を作興し復た秋毫饜慊の氣あらしむ可らさるは固よりにして、曩に陸軍省か同紀念日設定に關して頒布せる趣意書の旨意とする所も、亦全く之に過きすと爲す。故に其稱して紀念祝日をといふ、單に自家の手柄功名を繰返して一日をお祭騷ぎの中に葬むるに非すして、國家未曾有の大勳功大偉績を追懷すると共に、併せて其成功の偶然ならさる所以に想到して、專ら士氣の振作に黽めんと、是れ本日の光輝ある紀念日を祝する第一義ならすや。

今や奉天戰役を去る此に一年、平和已に克復して、出征將士各々凱歌を奏して故山に歸耕し、其戰功の偉にして名譽の大なる丈け、戒むへく愼むへきは、即ち氣滿ち意驕るに在り。夫れ滿は敗を招き驕は亡を速く、古來然りと爲す、本祝日に際し、敢て規を以て辭と爲すもの、蓋し微意の存すれば也

東京電報

●大使館設置の誤傳

清國側にては日本に大使館を設置する事に決定せし如く傳ふる者多きも我政府は未た右大使館設置に關する交涉に接せし事なし (三月八日發電)

倫敦電報

●米國の防禦的設備

米國陸海軍委員は一億萬圓の豫算を以てマニラ灣バール灣グアナモカ、グアム、ホノルヽ及パナマ運河の兩端に防禦的設備を爲すへきことを具申せり

●大統領と米領諸島

大統領ルーズベルト氏は其敎書中に言明して曰く米國にして其所領の諸島を保有せむと欲せは之れを等閑に附すへからずと

●獨乙の戰艦新造

獨國議會の豫算委員は海外警備艦隊に加ゆる爲め一万八千噸の戰艦二隻一万五千噸の巡洋艦一隻の外更に大巡洋艦五隻を新造すべき件を可決せり

●佛國議院と海軍

佛國衆議院に於て海軍豫算案の討議中議員ロツクロア氏は佛獨開戰の場合に於ては海軍力の必要なる所以を説き佛國海軍の設備未だ完からざることを論じて喝采を博せり

●比島軍隊集中反對

米國上院に於て議員ヘール氏は非律賓に於ける軍隊の集中に反對して曰く之れ清國に對して戰爭を宣言するに等しと

●坐礁英國巡洋艦の歸航

スウエズ灣に坐礁せる英國巡洋艦ドネガルはマルタ島に向つて歸航せり (以上三月七日發電)

●英國內親王の改宗式

バツテンブルグ內親王エナ殿下の改宗式は西國サンセバスチアンミラマー宮殿の禮拜堂に於て執行されたりノツテンハムの僧正ブリンドル氏其式を司り西國皇太后クリスチヤナ陛下バーバリヤ親王フアデナンド殿下列席せり然れともエドワード陛下は參列せさりき

●モロツコ國官吏の所言

タンジールに於けるモロツコ國官吏の言ふ所に據れば彼等の賛同せざる決議は之れを承認せざる決心なるを以てアルジエシラス會議の終局如何に就ては顧慮する所なしと

●獨國製艦費

獨國議會の豫算委員會は二箇水雷艇隊の設置に對して第一次支出豫算案を通過し更に潜水艇隊に對して二百五十萬マルクの支出を可決せり (以上三月八日發電)

雜報

●鐵嶺近狀(上)

▲最近歸客の談に曰く　目下鐵嶺に在る普通邦人は視察者を合算して三百人前後なり、而して視察者の中には滿洲軍倉庫鐵嶺支庫に於て近々拂下げらると稱へらる、精米、罐詰其他諸品の拂下け物を當て込み滯在せる者甚た多し之を聞く鐵嶺支庫の拂下は滿洲に於て最も大なりと想ふに此の種の視察者は尙ほ其人員を加ふへし

▲邦人の商業に付ては特に談するに足る可き者無きも清人の商業は目下頗る活潑なるが如し其主要の取引品は無論第一に豆類を推さゝる可らす某商人の調に依れは現在の大豆は五十万石內外にして豆糟は約二十万枚なり

▲某は元と頭腦の精確なる商人也其の調査は蓋し事實に大差なかるへし而して以上の豆類は目下共に遼河の解氷を待ちつゝあり豆類に次て取引の盛なるは食鹽也、目下鐵嶺に現在する數量約二百万斤と稱へらる但し食鹽は主に昌圖を以て目的地と爲す者にて鐵嶺は其中繼所の如き觀あり即ち以上の二百万斤の食鹽も必すしも凡て鐵嶺に於て賣買せらるゝ者に非さる也而して今日の如く多數の食鹽の鐵嶺に堆積せるは從來に於て稀に觀る所の事實とす

▲試に一日土人に付て其原因を質問せしに答て曰く元來食鹽の賣買期は冬期にして而して其賣買も鐵嶺より昌圖を以て盛大なりと爲すに目下少數既に取引の季節を遲れたる長春、吉林、及哈爾賓地方への輸送は復た目下露國の都合に依り甚た困難となれり於是近來食鹽は俄然として其の價格を暴落し即ち一時に比較し殆んど其半價となれり今日鐵嶺に多量の堆積を觀る者は即ち此邊の事情に源因する者にて換言すれは急速以て昌圖に輸送するも賣行上別に好望ならさるか爲也云々

▲支那人の語る所果して其當を得たる者なるか將た然らさるかは今保證の限に非るも要するに食鹽は近來甚た其相場を下け居る如し

●過爐銀と支那人

目下營口金融界の一大問題として我官民に依り其利害得失に關し熱心に研究せられつゝある、過爐銀に對する支那人の意向なりと云ふを聞くに即ち差の如し

(一)近來日本人か頻に過爐銀の危險を云々するは其の沿革を知らさるに基くの罪也過爐銀は決して危險なる者に非す論より證據團匪事變の如き非常事變の外は甞て決算を怠り以て所持人に危險を與へたる事は無之に非すや斯の如の非常事變に當り一時決算を延期する如きに豈に獨り銀爐に限らんや想ふに日本の銀行と雖も亦必す然らん也

(二)日本人は頻に準備銀を云々するも營口二十有八軒の銀爐は互に周到なる注意を以て其の發行を監視せり即ち發行に準備銀を要せさるの故を以て亂發以て私利を營まんと欲する銀爐あるも實際に於て能はさる也蓋し銀爐は過爐銀に對し事實上共同の責任を有す於是就中一軒乃至二軒の銀爐に於て不正の行爲あり過爐銀の信用を害せんか一般の銀爐は依て生する所の損害を負擔せさるを得す故に銀爐は何れも已に於て不正を行はさると共に他に於て不正あるを許さす實に之れ不文の銀爐條例也此の條例あり準備銀を要せさるの故を以て輕々危險を云ふを得んや

(三)日本人は銀爐の營業を不都合なりと云ふも然らす萬一營業して損失を見るや若し破產して決算を怠る如きあらは他の銀爐に直接損害を與ふ可けれは共に助け合ふて決して不信の行爲あるを許さす日本人或は云はん其の果結遂に總体の銀炉の破產を見社會公衆に大損失を蒙らしむ如き不都合あらさるなきかと固より必無を期す可らす然かも斯の如きは普通の場合に非らさるや言を要せす非常の時に當り非常の出來事の爲に銀行の一戶共倒れとなる如き日本に於ても亦た無きに非るにあらすや即ち非常の場合を想像して危險と云へは日本の銀行制度も亦た然り今將た傚ふも何の効力あらん寧ろ現狀を維持して金融界に變動を與へざるの遠く勝るに若かさる也

(四)日本人の中には過炉銀の癈止を云ふ者もあるも其謂れ無きは固より今若し之を廢せんか營口の經濟界は全然暗黑界と化し輸出も輸入も即ち貿易は止り商業は休となるへし斯の如きは抑々亦た日本の利益にも非るへし其の是非の評論は後日請ふ改て之を行ふへし

因に以上の議論は支那人間とは云ふ者の主に銀炉の主張に係る者と知るへし

●博覽會準備委員

東京、京都、大阪等の實業家十二三名は奉天に於て開催すへき博覽會の準備委員として本月一日を以て奉天に到着し開催に付き種々準備中なるか三四日前には全地公議會員及ひ在住同胞の主なる者數名を日清俱樂部に招請して披露の宴を催し席上開催に付て各の意見を叩き同時に委員連に於ても其の希望を述へたるに日本人は固より臨席の支那人も大に驩迎の意を表し能ふ限り盡力する旨を物語りたりと云ふ尙は公議會の清國人等は更に其翌日を以て委員を北小門內の福合園に招待して返禮の爲に慰勞の宴を張りたりとなり博覽會に付ては軍政署に於ても大に同情し且つ一般支那人間の評判も以上の如くにて良好なる如けれは愈々開催の上は見物ならん因に以上の委員中大阪を代表せるは全地商業會議所員西田正俊氏にして京都を代表せるは同しく全地の商業會議所書記小杉慶太郎氏也更に東京を代表せるは全地の實業家田川柳助氏なりと尙は工學士村上亨一氏も一行の中に在りて設計其他に關し熱心周旋しつゝありとなり以上委員の意向は五月一日より開催せんとするに在りて準備一應調ひ次第鐵嶺及ひ撫順を視察し其れより更に營口に來り出品に付て諸方を勸誘する筈なりと云ふ

●補助貨幣の必要

拾錢を邦以て最も小爲す軍票時代の今日と雖とも人は何れも其端錢に窮し不本意乍らも時に餘分の支拂を爲す事珍しからす甚た內地に流通しつゝある小額の補助貨幣を切望せるに若し新に正金銀行牛莊支店より發行せられたる一覽拂手形の流通を見同時に軍票の回收せらるに至らは困難更に一層ならんと今日より心配せる者多しとなり蓋し正金銀行の發行に係る一覽拂手形は甞て本紙に記載せし通り最小五圓なれは其流通と同時に軍票の回收を見れは一般の困難するは必然の事なり近頃聞く所に依れは正金支店に於ても將來は兎に角已に現在に於て小額の補助貨幣は甚た必要なれはとて機を見て內地より取りよするの內意なりとか一般の便利の爲に斯くありたきものなり

●清國人の所有車輛數

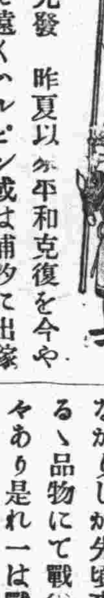
營口にて清國人の所有する現在車輛數左の如し

人力車	四八九
小車(客馬車)	三九七
荷馬車	一三、五〇〇
猫車(一人押)	二六七

●雜貨の仕入　一般の商況か依然として沈靜の裏に在るは毎々記載する所なるか近頃聞く所に依れは大連等より雜貨の仕込みを爲す商人往々にして之れあり二割以上の利益を博しつゝありと云ふ軍票騰貴の爲か或は他に原因あるにや

●昨今の病人　營口に於ける昨今の病人は依然花柳病其の第一位を占め次は呼吸器病次は消化器病等の順序なりと云ふ而して今日に於てもチフスも亦た中々少からすとなり

●本願寺の日曜説敎　當地永世街本願寺出張所に於ては定例に依り明十一日午後一時及ひ七時(營口時間)の兩回日曜説敎を開き(人生と宗敎)との演題にて寺本布敎師より説敎あるよしなり



●浦汐遠征隊の先發　昨夏以來平和克復を今や遲しと待ち受けて遠くハルピン或は浦汐に出稼して見事露助の首を及でもあらぬ可弱き細腕一本で成佛させんと力味たる我女軍の凄じさ迚ても五尺の男子が及ふ處にあらす玆に昨秋此方元神廟街は東邦亭にて酌婦となりて住み込みたる天草生れのカメノとか云ふ姫御前は戰爭以前も浦汐は愚か遠くハバロフスク迄も遠征を試み多くの露助を悩したる豪の者悲しや戰爭の爲め一時故郷に歸り只管平和を待ち居りたるも容易に去る模樣も之れ無き爲め遂に待ち草臥れて當營口に來り御本人には至極不向の日本人相手のお娼賣に辛抱なし居りたる所愈々戰爭も治まりたる事とて出でや一番乘込んで戰さの爲に死なれた同胞の仇を打ち取らんと妙な所へ力瘤を入れて此間樓主にも話合ひ軍政署に至り無事に下婢鑑札を返納し西比利亞下ろしの寒き露領方面を差して出發せりと扨ても强尻な姫御前なりけり

●料理店の揚高　去る二月廿一日より同廿八日迄の各料理店の揚高は合計二万一千四百五十四圓五十七錢にして例に依り最も揚高の多き家を掲ぐれば第三樓の二千二百十七圓二十錢日本館の一千五百廿二圓六十九錢祇園の一千三百七十一圓廿錢等にて毎旬大關或は關脇の地位を占めたる金城館は貧棒神に下りて九百餘圓なりと云ふ

東西南北

●西侯井伯の光榮　西園寺首相及ひ井上伯は英國皇帝陛下よりグランド、クロス、オブ、マイケル、エンド、セントジョージ大勳章を贈らせられたるに付此程各懇篤なる謝電を英國皇帝ら陛下に捧呈したるに同陛下には兩氏に宛て各別に左の如き御親電を賜らせられたりと

朕は卿が電報を感謝すプリンス、アーサーをして卿に名譽なる勳章を附與せしめしことは朕に大なる愉快を與へたり

●伊藤侯と呉軍港　伊藤統監は去る廿五日吳軍港視察の際山內司令長官の午餐會に臨み左の意味の挨拶を爲せり

最近十數年間世界兵器の進步は實に著大なるものにて當軍港の發達も亦非常なるものあり特に山內君は斯道の學識經驗共に他人を拔くものあり君か今日に至る迄我兵器の改良進步に力を致したると既に內外人の能く知る所なり現在一万噸以上の軍艦を容易に建造するを得るが如き實に其一例なり余は益々當軍港の發達を祈り併せて君の健康を祝す

●昨年の外國爲替　昨三十八年一月より十二月に至る外國爲替は、其振出に於て枚數一万千八百七十四枚金額三十七万四千百九十九圓にして之に對する拂込即ち拂渡高は枚數八万七千四百九枚金額五百五十七万二千四百六十五圓にして其大部分は海外移民の送金に係るものなりといふ

●日露貿易の好況　平和克復後浦塩斯德に向ふ輸出雜貨は非常の好況にて屛風刺繡物、靜岡漆器、花莚、緞通等盛に輸出あり殊に露國人が神戶に來りて直接物品を買入るゝが如きとは從來なかりしが先頃來神戶に來り是等の人々の買入るゝ品物にて戰爭前同方面に需用なきものも弗々あり是れ一は戰爭中物資の缺乏にもよるべけれども戰後本邦品の價値を認められ需用の起りたるものなるべしといふ

●兇徒事件の餘波　河野大竹氏等の公判は開廷と同時に豫審中に於ける秘密端なく暴露したるがこれに伴ひ或は僞證若くは誣告の罪に問はるゝ被告人を出すやも知れず又東京地方裁判所撿事局と警視廳との間にも種々複雜なる關係あり此等の事に就ても早晩其事項を明白にし世人をして意外を感ぜしむることあるべしといふ

●新入兵卒の割腹　高松にて師團招魂祭當日新兵一下士の橫暴に耐へすして割腹せしも死に至らず治療中なるが同隊にては堅く之を秘し居れり去月丸龜聯隊にても割腹せしもの一名あり批難の聲高しと

●一年に四人出產　臺灣鹽水港廳下蕭壠庄にて相應の資產家なる陳國梁と云ふ者あり前年妻を迎へたるに間も無く懷胎し昨年舊正月に一男一女の双兒を出し間も無く產後又懷胎して舊十二月中一男一女の双兒を出產し一ヶ年に四人の兒を儲けたりとて家內の者共大に喜び居れりと

●明日は休刊　本日は奉天戰役紀念祝日に付明日は休刊

汽車時刻表

▲上行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
新民屯至溝邦子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇
山海關至唐山	上一二、一八	下六、二〇
[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
北京至天津	上一一、二〇	下五、四〇
北京至塘沽	下二、四〇	下八、三〇

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表

大連奉天間下り列車

驛名	發着	時刻
大連	發午前	九、〇〇
金州	着	一〇、〇九
[illegible]	發	一一、二九

上り列車

驛名	發着	時刻	發	時刻
遼陽	着午後	三、五〇	發	四、五五
大石橋	着	一〇、三二	發	一一、三五
金州	着翌前	二、二〇	發	三、一〇
大連	着	五、三二		

營口線

上り列車

驛名	發着	時刻
旅順	發午後	二、〇三
大連	着	五、三二

下り列車

驛名	發着	時刻
大石橋	發午前	一、〇〇

天氣

營口地方天氣豫報　自三月九日午後六時至三月十日午後六時

日報倶樂部

●昨年の本月本日

長劍生

丁度昨年の本月本日であつた十數日に亙れる大戰鬪の後猛烈なる砲火が全く歛まつたので自分は奉天の北約五里なる第一師團の本營田義屯の一民家の屋上から望遠鏡を以て前面に蜿蜒として長蛇の如く横はれる鐵道線路に沿ふて露助共が蜘蛛の子を散らす如くに我れ後くれじと先を爭ふて潰亂せる狀を展望して愉快に堪へず思はず萬歲を連呼したのは今も忘る可らざる壯快事の一である今日こそは空らも澄み渡りて砲聲も追擊隊の遙にズドーン〳〵と打出す音しか聞え無いが昨日迄の田義屯と來たら敵軍が射擊の標的と爲つて小銃は雨霰の如くに注下し曳火彈は花火線香のパチ〳〵する如く頭上三尺の處へ來つて爆發する加ふるに朝來暴風沙塵を捲いて天地晦瞑咫尺を辨せすといふ具合であるので口を開ける事も出來ぬ丁度其時司令部は村の東南の端の土壁に據つて位置を占めて居たが師團長閣下及び各參謀等は土壁に蝙蝠のベツタリ喰付つたやうに身體を托して身動かしも出來ぬ馬が斃れる屋根が打拔かるゝ傳令が來るズドンと前でやられて仕舞ふ兵隊が頭を出すシウーと小銃がやつて來る何うか爲つたと見ると直く擔荷で運去られる風の音、馬の嘶、砲彈の爆裂、負傷兵の叫喚、見るも聞くも一として凄慘の色ならざる莫く一として凄慘の聲ならざるは無く自分はもう此處で此村と共にブッ潰ぶれて仕舞ふものと覺悟を極めた其有様と來たら迚ても筆や紙のく盡くす所で無い併し夜に入ると段々敵の砲火も絶え〳〵に爲つて夜半に至ればもう寂然として來た此激戰の後に屋根に登つて展望した時の愉快の今も忘れる事の出來ないのは當然てある況んや其愉快なる昨年の三月十日を距る滿一年にして營口で其紀念日に遭遇して同戰役の偉績を懷想するといふ事は尚一層の愉快であらねばならぬ而して其日自分か叫んだ萬歲の後ち約三時間にして司令部は再び軍容を整へて北の方鐵嶺指して追擊の行進を起したのである

●何が美味いであらうか

此問題は今週の日曜に汎く江湖に募集した問題であつたが爾後五日にして編輯に舞ひ込んで來た投書の數が十八通美味い物の數から言へば僅に七八種に過ぎないが而も同好家の十八人もあつたのは其出題の徒爾に終ら無かつたのを證するとが出來る答案中同種類のものは一々掲載するの煩を避け一括して唯其名を記して置た唯だ營口の美味い物が今金と山金で持切りは少くし驚かざるを得ない

▲衛生軒のヒレ肉　永世街の三輪衛生軒の牛肉ロースは流石東京から職人を呼寄せた丈けに其切れ味が尋常で無い就中ヒレ肉と來たら頤の落つる位[illegible]甘さである併し是れは一頭の牛から五六百目[illegible]か取れ無いので何時でもあるといふ譯に行かぬさうぢや此ヒレ肉は東京では御屋敷肉と稱へて牛を殺すと直ぐ歷々の貴族方へ運び去られて市中には何處にも賣つて無い即ち東京では平民の到底食ふとの出來無いものが此營口で味ふとが出來るのである（吉田生）

▲春帆樓の鷄飯　營口で比較的料理の美味い家は春帆樓であるが其中でも鷄飯が第一等である下戶には最も適當である（自稱紳士、兩天秤生）

▲山金の茶碗蒸　老夫婦手製の茶碗むしが營口で第一等ぢや燕餅も惡るくは無い殊に酒と來たら芳醇口に適して最も味ふに足るのである老夫婦の奇と相俟つて其料理が一層の異彩を有して居るのである但た少し上品振つた者の出入に適せないのは殘念であるがこれは平民的飲食店の特色として致し方が無い（短褐生、孤劍生、一平民、山金黨、覆面紳士、遼南酒俠）

▲今金の牛肉鋤燒　最も輕便で最も滋養的で且つ比較的甘いのは今金の牛肉ロースの鋤燒である併し今金へ生のロースを買ひに遣つても店で食つた程に甘い所を寄越さ無いのに困る（一書生、衛生家、高屐生、或小僧、輕便子、女蠻殼）

▲葡萄、梨、栗　營口に來て何一つおいしいと思つたものはありませんが葡萄と梨と栗と丈けは日本でも珍しいと思つて何時も頂いて居りますそれにマア小供の頂きますとと言つたら非常でございますので折々宅がお前小供にかてつけてなど丶有仰いますとが度々ある位です私は果物黨でございます（一婦人）

▲牛莊亭の洋食　不味な營口の日本料理なんか食ふなら牛莊亭の洋食をやり給へ（灰殼紳士）

▲玉餅の玉餅　玉餅屋は其名の如く玉餅を以て特色として居る丈けに非常に甘く出來て居る名聲を墮さぬやうに勉强が肝心ぢや（誤最負生）

小說

新作小說　おとし胤　德田秋聲

（九）

昔、山が鳴ツて大騷をしたら、其の山から蛙が一匹飛出したといふ話がある。

寬齊も合田も何しろ山が鳴ツたから驚いた。寬齊の如きは、光が何うして其樣なことを知ツてゐるかと思ふと不思議で耐らぬ。合點の行かぬ沙汰である。

合田の方では、これは何んでも平常から、此の老爺が海鹿家を惡しざまに誘ツて、そして此の邪氣の無い少女に惡い智慧を付けてゐたに違ひないと判斷した。それで荐なりかゝツて、

「誰が、其樣なお話をしたのです。それを有仰ツて下さい………　次第に依ツて聞捨　ならんこと。」

と恐ろしい權幕で詮議したのであツたが、所詮は無駄。詰れば詰る程、光の唇は堅く閉されて了ツた。彼女は彼の巨漢の口止だけを堅く守ツてゐるのであツた。それで合田は、益々深く寬齊を疑ツた。

「こりやア一ツ工夫を換えなければならんぞ。術が無いと思ツてゐたら、此の老爺、中々深く企謀むで居るわい。よしよし、それなら此方も一番其の積で、謀の裏を掻いて呉れる。」と合田は、疾くも分別を定めて、此の夜は知らぬ顏で

「何うか篤と考へて置いて戴きませう。」といふところで、話を切上げて了ツた。

さて各自床に就いた。光は、例時のやうに寬齊と床を駢べて寢たが、寬齊は例時のやうに昔話もしなければ女子の心得となるやうなことも話さぬ。されば謂ツて、出京の決心を糺すでも無ければ、袂別の悲哀を訴へるのでも無い。

「もう眠ツて了ツたのかしら。」

と思ふと然うでも無い。眠らぬ證據には時々深い歎息が漏れる。其の歎息から考へても、寬齊の胸には、謂ふに謂はれぬ苦惱があるに違ない

「一体お祖父さんは、何を心配してゐらツしやるんだらう。」

と此う考へると、光は直に、「お祖父さん、お祖父さんと。」

と低い聲で呼掛けた。雖然返事が無いので、光は妙に思ツて、

「お祖父さん、お祖父さんは憤ツてゐらツしやるの。」

と追駈けて訊ねた。それでも返事が無いので、光は何んとなく悲しくなツて來て、何時か泣出して了ツた。

此の泣聲が、耳に入ツたのか、寬齊は呻くやうな歎息と一所に、

「光、光、其方は泣いてゐるのか、何うした、む丶、何うした。」

これは、平常の慈悲の籠ツたお祖父樣の聲である。

光は、幾か勢づいて、

「い丶え、何うしもしないのよ。だけども、お祖父さんが、何だか憤ツてゐらツしやるやうですから、私、悲しくなツて。」

「いや、これ、光、俺は憤ツて居るのぢやない。泣くな、む丶、泣いて呉れるな。俺はの、謂はれぬ苦惱をして居るのぢや………、義理の爲に、恐ろしい呵責を受けて居るのぢや。俺は十七年前に丁度此樣な苦惱をした………、其方の母親の爲にの！」

「何故お祖父さん………何うして其樣な苦惱をなすツたの。何うか私に聞かせて下さいましな。」

「いや、可かん！　それを聞かせる位なら、俺は此の苦惱をせんのぢや。一口に謂へば、俺は讎に忠義を盡さなければならん身の上ぢや。心では刃を向けたいが、仁義の道は其を宥さぬ………
……いや、宥さぬでもろか、俺は、家も體も捨て丶其の仁に盡さなければならんのぢや………」

と謂ひか丶つて「いや、謂はん謂はん、これで謂はん。何も觀念ぢや。光、其方東京へ行ツて呉れ。潔く行ツて呉れ。そして此の祖父のことを忘れて、父樣に孝養を盡して呉れ。」

題竹　大石稿　岩城黄雨

婆娑清影玉琅玕最愛三冬立苦寒高潔由來君子稱今人遜節果漫々

春日遠望

高樓一望水西東嵐氣逼人淡靄中最愛晴光詩料裕會仙壺日醉春風

春夜偶成

月轉西廊旣四更中庭香霧罩花禁恐他棲鳥驚幽夢樹下低吟不放聲

題牡丹花

天香國色渥君恩惹得騷人欲斷魂疑是唐家妃子到闌干倚遍悄無言

遠征雜詩　犀陽

夢裡家郷總是虛
爲客遼東一歲餘　來時常記雁飛初
金兒巳死秋兒病　夢裡家郷總是虛

大陸風光
可覲水秀與山清　溝外遙開鐵路横
大陸風光何快活　前程小雨洗軍兵

閑日少
五洲文物盡觀光　貿易場中國利張
此世何爲閑日少　因休兵戰外交忙

○　在遼陽　平山梅象

お春とてことし十四の田舍乙女
母養ふとて花賣りに來ぬ

雪にして我世をわぶる廿五年
友となれなの紅や花

白銀の雪に笑むなり吾兒一人
我が世つめたくなりにけらしと

題書葉書美人
京染めの三越好み袖長ふ
雪をあらわの君がかいなよ

●老妓

一夜會心の友を得て某旗亭に飲む老妓あり嬌音圓轉能く彈じ能く歌ひ三絃と相和して一急一緩殆ど神に入る我れ聽て恍惚として自ら我を忘れ歌と我れと將に一體たらんとす歸來耳底尙朝々として餘音を存するもの多時今其一二を抄出して貴紙に投ず卑俗見るに堪へずと雖も一たび聲妓の喉を經る則ち與趣津々能く彼の如きを致す亦老手と謂はざるべけんや妓故あり姑く其名を缺く物色して之を得たらん者則ち粹人中の粹人を以て稱すべき者

▲リン〳〵とりんとふつたる薙刀を一ト振り振れば敵はチリリン

▲山王の御山に猿が三さかり、相の手と手と手々と手と手と

▲彌陀六字法華七文字鬚八字、裁判公（九）事にドンガ十二時

▲心棒の棒が折れると貧乏を、すると泥棒するかべら棒

▲世の中は貧じや有德じや苦じや樂じや何じや、かじやとて末はむちやくちや

●鹿爪錄　名前の長い者の引合には能く小田切萬壽之助君が出るが長いと謂つても僅か普通の名前より二字多い許りである▲然るに此に本當にならぬ位に無暗に長つたらしい名前といふのは宮城縣栗原郡志滋姬の野田江川富士一二三四五左衛門助太郎といふ男の名前である▲此男はもと出征第二師團野戰隊の電信隊附步兵一等兵卒であつたが名前の素的に長いのに當人も閉口して野田一二と名乘つて居るさうぢや志滋姬村には野田江川富士といふ姓はまだ他に澤山ある▲戰爭前に浦鹽斯德通ひの義勇艦隊か東淸鐵道會社かの汽船にウエリーキイ•クニャージ•アレクサンドル•ミハイロウイチといふのがあつた汽船會社に行つて正直にウエリーキイ•クニャジ•アレクサンドル………は何時出帆致しますか何んて聞いて居る間に船がブー〳〵煙を揚げて出帆する位に長いのである（口口生）

營口商店案內

加藤洋行

一昨年支店を當地に設け專ら日常需用の雜貨を販賣し殆ど一ツとして揃はさるはなく至極顧客に便利の店今後は更に商品に多大の改良を加へ從來の日本品のみに止らず歐米各國より嶄新流行の諸雜貨を輸入し所謂デパートメント、ストアを形造るとの由　本店天津支店北京は何れも又盛況なり、大阪に仕入店を置き品質の撰擇に努む主なる特約品は洋紙、札幌麥酒、蜂印葡萄酒、菊正宗、九曜正宗、仐醬油等にて尙は高島屋の吳服特約販賣をもなせり近來當地淸商との雜貨取引き盛んなり

●春なる哉春なる哉　堅氷四圍を壓して萬象尙未だ荒凉の色を改めずと雖も昨來東風一過人は復た炉と相親まず黃塵の營口亦靄々の春光を漏し來る春なる哉春なる哉

廣告

公告

電話交換加入者募集

當局電話交換加入希望の者は至急申込可し

追而二月十五日以前に申込みあるも未だ架設に至らざるものは重て申込を要す

明治三十九年三月三日

營口軍政署電話局

故沖禎介

追悼の爲め江湖諸賢より玉はりたる詩歌書畫を編集上梓して一の紀念帖と爲し度き旨同存父沖莊藏氏より通知有之候就ては其紙數を一葉にても多からしめ以て存亡父子共の光榮を大ならしめ度くと存候間廣く江湖の同情を得度廣告候也

一、刻版は四月中に取かゝる事と存候
一、紙判は美濃紙大
一、沖莊藏在沖繩縣那覇地方裁判所官舍
一、御問合の件あらは左に

新民府奈良崎八郞　營口瀛華學院上野政則
大淸通運公司安田貞藏

同志友人　敬白

建築請負廣告

弊組儀昨年中官民の建築工事に從事致居候處本年より專管居留地へ各事業家之建築多大なるものと推測し就ては本年より一層事業を擴張し各位の希望に應じ正實と叮嚀を主とし勉强可仕尙構造法等は多額を要せずして堅固なる建築法を研究致在候間建築御希望の御方は御通知次第參堂御相談可申御注文之程偏に奉願候

建築設計依賴に應ず

營口永世街一本町二百五十八號　工棟組

奉天日本旅館

瀋陽館

家屋宏壯淸潔
接待優遇懇切
開放全時一開業
奉天小西門外大街路北

營口

本店　彌生　電話四一番

支店　彌生　鐵嶺西門外大街

今回新に鐵嶺支店を設け旅館及會席御料理營業仕候間本店同樣御引立之程奉願上候

一位置　西門より西の方五六軒北側に候
一構造　室內裝飾等日本式　特別室あり凡て營口本店の設備に比し優るとも劣るとなし
一待遇　は親切と叮嚀を旨とし調理萬端十分注意仕候

館主宮下只七郞

會席料理　三日月　營口警務課前南に入る

材木販賣
荒物

∴

營口永世街第一八四號平野町

秋田洋行

本店 下關 秋田寅之輔商店

雜貨 すし米
醬油 清酒 大樽 半樽
木炭

營口西北街

阪神組

雜貨卸商

在元營口神廟街

關東公司雜貨部

Yano & Co.

矢野洋行

電話一三七 Telephone No. 137

諸雜貨、家道具類、吳服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段ゟ極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

本家 日本東京神田鍛冶町 堀内大藥房

淺田飴 あさだあめ

肺癆痰喘氣急傷風痰嗽小兒風痰病後體弱肺病一切立見奇功

◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかぜ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥

有名賣藥醫藥醫科器械卸小賣

永世街 東瀛大藥房

房主 藥劑師中馬龍造

石材、碎石
並に自家製造 廉價販賣
瓦、煉瓦

營口元神廟街四十號第二號

順吉洋行

大日本帝國醫科大學模範藥局御用
攝津灘石崎合資會社釀造

醇良清酒 澤之鶴

滿洲特約大販賣

㊝ 裕和盛號支店

清國營口西北街 電話八十一番

大連湖北彩票毎日賣出

○酒保用品雜貨
○日本清澤之鶴樽詰瓶詰
○洋酒食料品各種
○和洋煙草各種
○菓子類各種

東清鐵道裕和盛運輸局

○本店日本長崎梅香崎
○支店清國、芝罘、旅順、鐵嶺、
○支店韓國京城、仁川、木浦、

裕和盛は　澤之鶴は
清商中口本通の張本！　既評に定ある天美鎌！

醇良自釀清酒

牛莊港東營口

宅合名會社 營口支店

札幌ビール
朝日ビール
口付萓大和
醬油瓶詰樽詰
酢
菓子鑵詰色々
洋酒類
右取次販賣

ゼム 財菓 口中香藥

ゼムハ著大ナル効能ト愛スベキ美味馥郁タル香氣ヲ有スル良劑

財菓者芳香馥郁而美味可愛靈約也

大日本東京 山崎愛國堂 大藥房處修

大清國發賣處 淺野大藥房

營口永世街(二本町) 各國有名靈藥總發賣處

諸鐵工製作

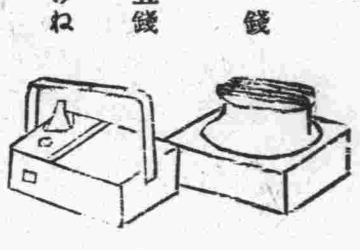
鑛山船舶機械鍛工
輕便鐵道附屬鍛工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般

營口綏定門街 ブツシ商會東

川喜鐵工場

御手輕料理

一釜飯御一人前 銀五十錢
一湯豆腐一銅壺 銀二十五錢
一突出しの外は御注文なければ差上不申候



營口元神廟街二〇九號

月 日

翁亭

御旅館

天津

芙蓉館

駐屯軍御用
並西洋料理

弊店儀從來平野町に於て左の營業致し居候處此度商業擴張の爲左の所へ移轉仕候間倍舊御引立の程奉願上候

豊濟門街李俊の前

ペンキ塗請負 京阪組

具事勉强乘車乘船好位置

營口中央市場前

旅館 東京樓

店主 熊田兼次郎 (電話百七十八番)

即席和洋料理 東京樓支店 (電話四十四番)

西洋料理仕出し御需應にず

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣

江副洋行

營口永世街

旅人宿 東館

大連市信濃町卅九號地

特別ト親切ヲ旨トシ且ツ廉價ニ御取扱可申候

時刻

	唐山至天津	塘沽至北京	天津至北京	山海關至北京
上	六、[illegible]	六、〇〇	一二、〇〇	八、
下	[illegible]	二、〇六	五、二〇	六、四五

	天津至山海關	唐山至山海關	山海關至營口	溝邦子至新民
上	六、[illegible]	六、〇〇	七、〇五	三、〇〇
下	六、[illegible]	一一、五八	四、五五	六、五七

奉天上り列車 奉天著 午前一一、〇〇

大連發 旅順着 發午前七、三〇 着一〇、四九

營口發 大石橋着 發午後十〇、二五 着翌前一二、二〇

豫報

昨日の氣溫　最高溫度四十五度　最低溫度三十三度　昨年との比　高十一度五　高三十三度六

宮門抄

十二日

商部　鑾儀衛　廂黃旗值日　內務府引　見三十名　鄒嘉來等謝授缺　恩　掌儀司奏十五日祭

奉先殿派侗行禮

召見軍機　鄒嘉來

外務部　商部　遞封奏各一件

奏議

北洋大臣袁奏爲淮軍積欠商款無力籌還援案懇恩飭部給獎以昭大信摺

奏爲淮軍積欠商欵無力籌還援案懇　恩飭部給獎以昭大信恭摺仰祈　聖鑒事竊照淮軍餉項皆係仰給南省歲有定額嗣因相率短解以致收不敷支兵燹之後復經戶部奏明核減改撥每年派定解足銀一百五十七萬六千兩量入爲出勉敷支放乃各省於核減之數復有短解加之常備新軍奉飭於淮餉內每年勻撥六十萬兩又鄂省代造北洋軍火復於協餉內坐扣大批價值餉需本有限數而支欵則意外加增雖經迭次裁減兵丁仍復異常竭蹶事關計口授食又未能短缺分毫不得已隨時向津滬號商通融挪借以應急需一面電催各司關局迅速籌解迨經解到而墊欵已屬不貲杯水車薪頃刻立盡於是仍向商號移挪舊欠尚未償清新逋復經積累糾纒套搭終無了期現在核結欠欵計光緒二十九年分欠銀四十一萬一千五百四十七兩有奇三十年分欠銀二萬九千三百四兩有奇商號屢次催還愆期已非一次若不速籌長策不特商債纍纍有乖政體且恐將來南省協餉不能如期解到則緩急無可相商萬一飢軍因餉而譁深恐有妨大局擬請援照從前成案獎叙實官庶商情不至怨望而部庫亦免籌撥爲難等情據淮軍銀錢所具詳請奏前來臣查淮軍餉項均係南省協濟即使如數解足而道途綿亘倘有緩不濟急之時刻復短解甚多則有無相通端資商欵惟歷年積欠四十餘萬兩之鉅本省既無可籌還部庫又正值支絀經年累月久假不歸殊乖朝廷體恤商艱之至意伏查光緒二十二年間因淮軍歷年積欠商欵二十餘萬兩無方歸還經前督臣王文韶奏請援照江西息借商欵成案奬叙實官旋經部議於海防捐輸案內勸捐請償奉　旨依議欽此欽遵辦理此次淮軍欠項事同一律而爲數則又倍之籌還更非易易計惟有援案請奬俾於無可設法之中爲竭力彌縫之計在商人利權子毋本願以款歸還而名器足以動人或者情殷報効相應仰懇　天恩俯念淮軍欠欵過多無計歸補准照新海防例奬給實官庶免部庫另籌而商情亦不至阻礙此後緩急足恃仍可隨時通挪臣爲體恤商民用昭大信起見是否有當理合恭摺具陳伏乞

皇太后　皇上聖鑒訓示謹　奏奉　硃批戶部議奏欽此

東京電報

●設置使館之議未經交涉

傳聞中國政府有將駐東京之公使館陞爲大使館之議刻據日政府當軸之言中國尙未與日政府交涉云（西三月八日發）

倫敦電報

●德國建造大巡洋艦

德國議會之豫算委員會欲擴張海外艦隊日前已議定建造戰鬥艦二隻（各一萬八千噸）巡洋艦一隻（一萬五千噸）刻又議定建造大巡洋艦五隻云

●美員以派遣兵隊爲非計

美國政府欲防制中國匪徒派遣軍隊往菲律賓島一事已屢誌本報聞該國上院議員梭魯君執爲以不可盖以是爲挑戰非計之善也

（以上西三月七日發）

中外要聞

●改訂華工禁約　外部大臣與美公使詢問改訂華工禁約一事美使答以本政府已允從寬修改惟現在如何刪改之處尙未接到來電云云昨外部電詢駐美梁大臣以美改華工苛約究竟若何望即電覆等語旋接梁使來電云美政府允改條約均未妥善而旅美華商及留學生亦不承認今尙互相堅持猶未開議云云

●擬添客卿　昨政府王大臣會議朝廷變法自强亟宜仿照日本維新伊始之章程添設客卿二員在政務處專一切政治慶邸議以俟考查政治大臣回國再爲斟定

●電辦西藏事宜　昨聞一內廷可靠消息政府日前曾電致雲貴四川兩總督會同駐藏大臣有泰預籌佈置西藏地方應辦一切事宜之策因藏約已議有眉目也

●運動中英藏約　日前英欽差至慶王府運動中英藏約聞該館可靠消息係恐俄國開議牽涉西藏央公使一爲探詢中俄之事二爲恐俄人別有營謀也

●蒙古練兵　內廷消息慶邸日昨與鐵寶臣議商蒙地練兵應於蒙藩選擇英明强武之員以充統領力收實效若於保定調兵駐紮反起外人疑惑云云昨已片行理藩院矣

●中法聯盟之消息　昨聞法館人云法國欽差接到該政府來電派公使與中國政府議商中法聯盟之事是以南昌教案呂公使至外部並未提及也又聞中法盟好之意係爲俄國調停開議云云

●改良塲課　聞閩省爲瀕海之區百姓多積魚塲之利以爲生計該省塲課內頗有苦累商民之處應徵課銀外輙以雜費無出借端加派習以爲常如每塲百斤加增錢七八百文不等名曰長價又各塲魚客販塲請領道印給票執照或每單徵錢百文或每石徵錢百文名曰單錢正額每塲百斤收銀一兩五錢該合銀一兩五六名曰錢水以上皆巧取陋規著該督撫確查通行禁革務當實力奉行俾商民得以寬裕辦課均占餘利云云

●釐剔弊端　政府擬及各省漕耗等項久經酌定成規而不肖有司竟立名需索苦累民間等情通飭該督力即釐剔飭道府密行訪查如州縣有不按定例需索加派私行改折及縱容胥吏舞弊侵蝕者該道府即行揭參倘有徇隱經督撫覺查一併奏參

●飭議東省條陳　聞內廷傳云　兩宮以東三省善後一切事宜電諭各省督撫大員各抒已見條陳辦法茲有鄂督直督彙有摺奏其摺奏之中以直督所擬數條爲能切中機宜云

●熱心興學　山東留學日本回東合學生現擬設立一高等學校於芝罘商埠名日東牟公學刊布募捐招生章程不日即可開校寒士力薄阻力甚多艱苦經營頗爲不易同人中之熱心定力不爲少屈者以棲霞謝君鴻燾爲最其夫人馬肅貞女史尤足爲吾國女界生色女史名秋儀爲棲霞名媛謝君東渡留學女史與之偕興學議起女史毅然盡售其奩產得數千金以爲急公好義者倡云

●贛州銅鑛圖說告成　江西贛州銅鑛去歲經三江查鑛總辦陳小山觀察委雷二尹振鐸偕同溫鑛師赴贛周歷礦山考察數月繪圖貼說最爲詳盡現於正月十六日回甯銷差總辦將圖說轉呈周玉帥核奪以便春間招股開辦

雜報

●常備軍概不擾店　昨聞西城人來云錦郡近來常備軍駐彼處有某弁帶馬步隊一百陸十名住城西關郭家店房所有食用米薪菜蔬物具一切俱隨軍自帶而自行炊飪一毫不擾店家雖店僮有時捧茶亦絕勿受該店不勝欣躍感佩之至

●執貼概用手票　昨聞河北人云先前執貼買票雖奉軍憲飭諭而惟河北一站行使手票他站概要銀圓否則手票一元必須外加一角或兩角方賣給票現下因手票罕貴概使銀圓而站吏乃要手票不要銀圓手票買票每人三元銀圓買票必須三元三角云

●站役互爭分潤　昨聞河北執役來云該站有甲乙二役俱司驗收車票事件凡行客無票者必納其賄匿以自肥前日值甲驗票賄得手票四十八元未分與乙昨日值乙驗亦得賄廿六元甲求分潤乙折甲曰分則爾我賄須平分胡爲爾賄獨得我賄平分耶因而口角勢要格鬥雖經衆解喧噪恐知咸曰現下鐵軌吏役弊端嚴加整頓尙復若爾蓋先之弊端不問可知已

●因賭格鬥　本埠東街某甲抗次西街某乙賭債不償業爲決裂經本街益友軒烟室主人劉某爲之調說允於昨夕在該室償錢詎至夕甲復變更卽於該室互相搏擊致几桌盃甌紛相跌落主人劉時解護不暇不妨甲輙操劉之精美烟槍擊乙而碰然一聲槍桿碎裂聞直數十餘元立爲廢棄劉目瞪口呆無可奈何甲亦一時忘却投鼠忌器遂因此罷毆焉想甲乙或從此禁賭主人亦從此禁烟歟未敢必也

叢談

●採礦新法　紐約礦務工程報云澳州管士蘭乾涸地方近創一法採金及採錫可以不用多水法將礦石打碎次以火煅紅趁熱淬之於水中取出晒乾再磨成細末然後以風櫃吹之則金質重而直落餘則隨風遠颺所得金質尙帶砂土之類可再以大熱煅而去之又云南非洲之端盧付地方有人鑽地探礦鑽成孔深五千五百六十英尺孔徑約一寸共需十四月之久始作成此孔每月鑽深約計四十英尺每日作工八點鐘每隔五十英尺深提起鑽管一次當孔深五千英尺之時則需四點鐘之久始能提管一次還管入孔底需時相等又在南非洲之約翰士卜亦作成鑽孔深五千五百八十二英尺此孔則需九個月成功以上二孔所用之鑽頭均以金剛寶石爲之也

NEWCHWANG, SATURDAY, MARCH 10, 1906.

The 6th. Newchwang Debate.—(Concluded).

Mr. R. Bandinel. (War.) "Let an Arbitration Tribunal give a correct verdict. But, if some unruly Powers fail to fulfil the conditions imposed on them, what law but war could uphold the dignity of the Court?"

Mr. Mullen. (Arb.) "The 16th. and 17th. Centuries gave the world permanent embassies, permanent means of conducting intercourse between nations. The 18th. Century at its close gave the rudiments of a rational law of neutrality. The 19th. Century gave international arbitrations which tend to the up-rooting of wars. May the 20th. Century give us universal arbitration and wars will be a thing of the past."

Mr. Sargent, (Arb.) "Arbitration, the modern method of adjusting differences, is coming to the fore though slowly yet steadily."

Mr. Bauer, (War.) "To one party satisfied with the award given by arbitration, there will be two dissatisfied."

Mr. Bellew, (Arb.) "The Philippines to the United States and Korea to Japan, the prizes of expensive wars, are hanging heavy on the victors' necks like a millstone."

Mr. Farmer, (War.) "War is the best thing going."

The subject adopted for next debate seems pregnant of a practical interest quite of a personal nature, it being. "Would the awakening of China be detrimental to the Western nations?"

Rev. Mr. Webster started for Haicheng last night.

The foreign residents at the port have been requested by the Administration to provide near the entrance of their premises a garbage-box for the receptacle of refuse matter, which will be carried off by its scavengers on their daily round. None will welcome this sanitary innovation more heartily than the foreign community itself; for the Chinese servants will be no longer tempted to dump waste matter into the neighbouring ditches or much worse into the street, which practice has been often indulged in, mostly after dark. The new system has been put in force since yesterday.

Capt Horikoshi, Chief of the Administration Gendarmery and now acting for the Administrator, received yesterday the sad telegraphic news of the death of his aged mother who resided in Tokyo. We have just learned that her rapidly failing health from old age had been for some months a matter of deep secret anxiety to the Captain, to whom our most sincere condolence is tendered in his bereavement, made all the sorer by the claims of duty that have separated him from the maternal death-bed.

March 10th. has been recently proclaimed by the War Minister as a new Army holiday in commemoration of the day a year ago, on which the operations of the Japanese Armies engaged in the late war were most favourably situated on the most extensive scale during the whole of the compaign. To-day, falling on the 1st anniversary of the day, the Administration will close in its honour.

Telegrams in plain English, containing no ciphers or code words, may be sent from and received at the following 7 Japanese Military Telegraph Offices in Manchuria—the Antung, Port Arthur, Tairen (Dalny), Newchwang, Liaoyang, and Mukden (inclusive at the last-mentioned city of both offices inside the wall and at the railway station) between points in Manchuria remaining under Japanese occupation, Korea, and Japan.

EXCHANGE QUOTATIONS—(Mar. 9, 1906).

JAPAN	Bank T.T.	98
	" Dem'd	98¼
	P'ate 15 d/s.	99
SHANGHAI	Bank T.T.	71
	" Dem'd	71¼
	P'ate 15 d/s.	72¼
I EN TSIN	Bank T.T.	102¼
	" Dem'd	102
	P'ate 10d/s.	101
LONDON	Bank T.T.	1/11⅞
	" De'd	1/11 15/16
	Cr. 4 m/s.	2/-9/16
AMERICA	Bank T.T.	48⅜
	" Dem'd	48⅝
	Cr. 4 m/s.	50⅛
Bar silver		29⅝

After all the rapid slide of 3½ sen in a week's time, a feeble excuse of advance was observed in yesterday's rates.

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館 第一營口ホテル 元神廟街九十六號

旅館 第二營口ホテル 河岸通り

料理 第三樓 元神廟街三十二號 店主 粕屋忠兵衛

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程

料理 沖の島 永世街百六十五號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 料理 高砂ホテル 高砂亭 西北街 店主 片山小みつ（電話一四五番）

旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一）店主 麻田久二

旅館 大和館 永世街十一號 店主 前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田常松

東京 生蕎麥 一式 東庵 元神廟（電話百五十九）

旅館 料理 金城ホテル 永世街百六十六號 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

旅館 料理 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口元神廟街

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 さるそば 第二更科 營口元神廟街 永世街鶴の湯角

御料理 柳亭

叮嚀専一 豊濟門街二三 店主 玉岡益人

御料理 一力 營口永世街 店主 堀万助

並ニ温泉 毎日新湯

和洋料理 本店 松月亭 營口元神廟街一四三号

和洋料理 支店 滿洲ホテル 遼陽西街西門一一七号

御旅館

遼陽旅館料理屋案内

旅館 料理業 營口ホテル支店 主任 井上源吉

御料理 會席 菊水館 主任 朝枝團提

旅館 西洋料理館 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館 料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理 會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館 御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 玉家

御料理 主任 西野治三郎

御料理 會席 來々亭 主任 石田清

撫順炭大販賣
多少に不拘御用命被仰付度願上候
金城館販賣部

特別室落成
營口金城ホテル旅館部

藝妓 仲居 **新來**
金城館料理部

奉天小西門外
會席御料理 高等御旅館
金城館

旅館 **富喜樓**
室内は極清潔防寒之設備あり
鐵嶺驛へ滊車到着毎に日本人の案内者出張致し居候
鐵嶺城東門外南へ一丁余 南大街 樓主敬白

御旅館 豊陽館 上海（電話一〇六番）
日本郵船會社荷客取扱
歐米滊船乘船取扱
館主 米田藤吉

歐米各國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

お料理 **滿月** 平の町（電一三三）
滿月支店 平安（元都樓跡）
店主 青木勝吉

和洋 會席 御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に浩附且又會費等は特に割引大勉强仕候
二奉天支店も本店同樣に大勉强仕候間御光來被成下度候
營口永世街二本町 日本館本店（電話百三十番）
奉天小西門外大十字街北入橋町 日本館支店（電話十九番）
各位様

●本日午後六時ヨリ二本町松榮座ニ於テ
●**活動大寫眞**
●日俄戰況并ニ餘興元祿踊等種々

旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ぶも尚ほ不拂の御方は其姓名を掲げ新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相成度右は同業者協議の上及廣告候也
營口旅館料理屋同業組合

一關内外盧漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候 但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ事務取扱
一海關手續
一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大清通運公司 營口支店

新着！
舶來ヅボンツリ、新形ネクタイ、流行リボン、
雛人形 東京市松、はこせこ、鏡入、莨入、蒔繪莨入、手文庫、金庫、支那鞄、柳行李、
元祿模樣、絹首巻、ハンカチーフ、花簪、櫛、刷毛、理髪道具類、
鶴香水、ばら白粉、
春模樣新柄友染、双子縞、銘仙、裏地品々、
營口 **加藤洋行**（電話八十番）

發賣 料木 標子 木板
清國營口二本町二五五號
塩川商會 主任 鹽川犀吉（電話一三六番）
遼陽西門内 鹽川商會

●建築用材
北海道産松大角（自廿五尺至三十尺）二万立方尺餘
電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本
外に
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

○上等石炭 一噸に付 銀十六圓
○上等日本米 一石に付 銀二十圓
○板材木 ○木炭
○亞鉛板 ○洋釘
○干塩魚 ○石灰
御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持参可仕候也
喜久洋行 永世街八十號（電話百五十二番）

大連 **東洋ホテル**
大連鐵道停場附近民政署前兒玉町

標子 木板 料木 發賣
營口青堆子
清水寧木局

爲替相場（三月九日）
日本向 九十八圓二十五錢（軍票百圓に付）
上海向 七十一兩四分ノ一（同）
天津向 一百〇二圓（百弗に付）
芝罘向 天津向ト仝

日本品最近物價
紙類 加藤洋行
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙 仝 七圓五十錢
一仙花紙 一帖（六十枚） 六十錢
一仝 二十枚續 三錢二厘以上四錢
一狀袋 百枚 十三錢以上十八錢

室内裝飾品及寢具 矢野洋行
一蒲團 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
一座ブトン 十枚 五十錢以上三十五圓
一疊 薄様 十枚 二圓六十錢以上三圓
一麻緞通 一疊敷 八圓 三圓
一綿緞通 仝 三圓五十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ヶ月前金 銀八十仙
半ヶ年前金 四弗八十仙
一ヶ年前金 銀九弗六十仙